

うるま市のごみ処理経費・ごみ搬入量・資源化量等について

中部北環境施設組合に搬入された平成29年度のごみ量は、前年度と比較して増加しています。ここ数年概ね横ばいの状況にありますが、市民一人当たりのごみ処理に係る経費が多額であります。より一層うるま市が推進するごみ分別、リサイクルの取り組みを徹底し、ごみの減量化を図る必要があります。



リサイクリンちゃん

○ごみ減量に向けた4R運動の取り組みにご協力をお願いします。

- ・リデュースのR・・・ごみを減らそう
- ・リサイクルのR・・・資源として活かそう
- ・リユースのR・・・繰り返し使おう
- ・リフューズのR・・・ごみになるものを断ろう

1. 平成29年度ごみ処理経費

経費区分	金額	市民1人当たり 年間負担金額	1世帯当たり 年間負担額
ごみ収集運搬等諸経費	2億2,251万円	1,804円	4,334円
負担金	ごみ処理経費	8,833円	21,219円
	最終処分費	209円	501円
ごみ処理総事業費	13億3,750万円 (13億9,460万円)	10,846円 (11,361円)	26,054円 (27,653円)

*()内の数値は平成28年度実績です。

2. ごみ搬入量

ごみの種類	平成28年度	平成29年度	前年度比較	市民1人当たり 1日の排出量	1世帯当たり 1日の排出量	
可燃ごみ	31,538 トン	31,957 トン	419 トン	709.9 ㌔	1,705.5 ㌔	
不燃ごみ	674 トン	746 トン	72 トン	16.6 ㌔	39.8 ㌔	
粗大ごみ	493 トン	548 トン	55 トン	12.2 ㌔	29.2 ㌔	
資源ごみ	缶類	336 トン	297 トン	-39 トン	6.6 ㌔	15.9 ㌔
	びん類	918 トン	908 トン	-10 トン	20.2 ㌔	48.5 ㌔
	ペットボトル	358 トン	360 トン	2 トン	8.0 ㌔	19.2 ㌔
	古紙類	334 トン	362 トン	28 トン	8.0 ㌔	19.3 ㌔
合計	34,651 トン	35,178 トン	527 トン	781.5 ㌔ (773.3 ㌔)	1,877.4 ㌔ (1,882.4 ㌔)	

*()内の数値は平成28年度実績です。

3. 資源化量

種類	平成28年度	平成29年度	前年度比較
缶類	302 トン	258 トン	-44 トン
金属類	275 トン	328 トン	53 トン
びん類	880 トン	868 トン	-12 トン
ペットボトル	312 トン	320 トン	8 トン
古紙類	234 トン	240 トン	6 トン
古布類	2 トン	3 トン	1 トン
蛍光管	20 トン	20 トン	0 トン
乾電池	20 トン	27 トン	7 トン
スラグ	2,115 トン	2,178 トン	63 トン
メタル	0 トン	15 トン	15 トン
合計	4,160 トン	4,257 トン	97 トン

*平成30年1月末の人口123,319人、世帯数51,336世帯、平成29年1月末の人口122,753人、世帯数50,432世帯です。

*端数処理をしている為、数値が一致しない場合があります。

*資源化量の金属類は、不燃ごみ・粗大ごみから破碎・分別して出てきたものです。

*資源ごみ搬入量と、資源化量の数値の違いは、手選別作業による異物除去のためです。

4. 最終処分量

種類	平成28年度	平成29年度	前年度比較
飛灰	939 トン	1,069 トン	130 トン

*負担金とは、ごみ処理事業を行う為に必要な経費をうるま市から中部北環境施設組合にあてる、ごみ処理経費です。

リサイクル工房の利用について募集

組合のリサイクル工房内にあるパッチワーク工房を利用してみませんか。下記の条件等で募集します。

- うるま市及び恩納村の住民で構成する団体(任意で可)に限ります。
- 販売・営利を目的とした利用は出来ません。
- そのほか利用方法については、組合の指示に従うこと。

【活用例】資源ごみで回収された衣類を活用し、パッチワーク、マイバッグや布草履作り、衣服のリフォーム等々

詳細については、お問い合わせください。

お問い合わせ 中部北環境施設組合 ☎ 972-6619